

令和7年度大阪大学未来基金「学部学生による自主研究奨励事業」申請書・研究計画書

申請先学部	○学部		
ふりがな 氏名	はんだい はなこ 阪大 花子	申請 日時	令和7年5月●日
連絡用 Email アドレス	u99999x@ecs.osaka-u.ac.jp (大阪大学からのメールを受信できるアドレスを記入してください)		
所属学部	○学部	学年	○年生
所属学科	○学科		
		学 籍 番 号	99A12345
共同研究者	(共同研究の場合に共同研究者全員の学籍番号・氏名・所属学部学科・学年を記入してください) 99A54321・大学 太郎・○学部○学科・○年生 99A34512・豊中 次郎・○学部○学科・○年生		
アドバイザー教員氏名	吹田 花美 先生	アドバイザー 教員所属部局	○○研究科
アドバイザー教員 連絡用 Email アドレス	XXXXXXXXXX	研究倫理教育 受講の有無※	有 ・ 無
研究 課題名	(学部学生の自由な発想に基づく自主研究を奨励します) ○○○○における○○の研究		
研究費 申請額	(一件あたり上限●万円。2 ページ目の研究費の明細の合計額と一致させること。) ○○○○円		
研究目的	研究の全体構想及びその中での本研究の具体的な目的について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。特に、次の点について、記述してください。 ① 着想に至った経緯 ② 何をどこまで明らかにしようとするのか ③ 本研究の特色・予想される結果と意義		
次ページに「作成にあたっての注意点」を掲載しています。			
※研究倫理とは科学者が研究を進めるうえで必要とされる規範のことです。自主研究奨励事業の研究活動において、データや実験結果等を扱う上で一般的に注意すべきことに加え、インタビュー調査、アンケート調査、被験者を募集しての実験等、特に社会や人間を対象とする研究については、倫理的妥当性を確保することが求められていることに留意が必要です。			

研究費執行はアドバイザー教員を通して行うので、申請にあたっては必ずアドバイザー教員の許可を得ること。
共同研究の場合、1 件につき計画書を 1 通提出してください。

研究計画・方法	研究目的を達成するための具体的な研究計画・方法について、焦点を絞り、具体的かつ明確に記述してください。
<p style="text-align: center;">作成にあたっての注意点</p> <p style="text-align: center;">① <u>着想に至った経緯</u> ② <u>何をどこまで明らかにしようとするのか</u> ③ <u>本研究の特色・予想される結果と意義</u></p> <p>・ご自身で疑問に思ったことを研究するために、どのような手法で進めていくのか、そのために何が必要となるか(現地調査までの旅費、事前学習のための書籍、アンケート調査の規模と謝礼等)を計画します。</p> <p>・研究期間は7～12月までの約5か月間です。12月のゴール(研究成果)までの研究計画を考えたいうえで、それに沿って必要となる物品等を検討しましょう。 ※下記は一例です、このような月別の内容を研究計画書に記載する必要はありませんが、ご自身の中でスケジュールを立てるようにしてください。</p> <p><u>(例1)海外の現地調査をして、日本との〇〇に関する比較を行う</u> 7月:研究内容にかかる事前学習 8月:調査の実施対象者(人数、世代、職業等)や質問項目を策定 9月:海外の現地調査を実施 10月:国内の現地調査を実施 11月:海外と日本の比較を行い、考察を行う 12月:報告書の作成(予算執行は15日まで、報告書は19日までです)</p> <p>⇒事前学習のために必要な書籍や、海外の現地調査のための費用、アンケート調査の謝礼を検討</p> <p><u>(例2)大学施設の研究装置を使用して、〇〇を解明する</u> 7月:研究内容にかかる事前学習・研究装置の利用申請(〇日間×〇時間×単価〇円) 8月:大学施設の研究装置を使用して実験 9月:実験の考察 10月:大学施設の研究装置を使用して実験 11月:得られた実験データの精査 12月:報告書の作成(予算執行は15日まで、報告書は19日までです)</p> <p>⇒事前学習のために必要な書籍や、研究装置の利用料、実験のための試料や保管用物品の購入</p> <p>・大学での研究費は適切なルールに基づいて使用していただく必要があります。 また、限られた予算の中で配分されるものですので、「たぶん〇〇万円くらい必要」「とりあえず〇〇円くらいは欲しい」等ではなく、研究に必要と考えられるものを申請してください。 (無駄が出ないように、申請されるみなさんで有効に使っていただくためです)</p>	